

# ハリケーンハービー体験記



ヒューストンで想定される大規模災害といえばハリケーンです。毎年6月から11月までの間は「ハリケーン・シーズン」と呼ばれ、ハリケーンの発生に備えた準備が推奨されています。今回は、実際にハリケーンの被害に遭った編集委員の体験談を取りまとめました。ハービーの体験記と合わせてQ&Aもぜひお役立てください。

何日も続いた雨のせいで、家の前の道路は冠水。ガレージから様子を見てみると、救助ボートがやってきました。レスキュー隊員の1人が「裏のcreekも氾濫の可能性があります、このエリアは避難命令が出ている。これから来るボートに乗ってください。」と教えてくれました。主人と急いで荷物を纏め、浸水した場合に備え、床のものをテーブルやカウンターに揚げ、家電のコンセントを抜き、ガスや水道をチェック。次男をカーシートに乗せ、犬をリーシュに繋いで、いざ外へ。「水がたくさんあってすごいねー！」とはしゃいでいた長男も、ボートに乗るときには事の重大さに気が付いたようで、ボートの上では私にしがみついていた。サブディビジョンの入り口まで行くと、そこは避難者とレスキュー隊員でごった返し。私たちは犬がいるので、ペット連

れ家族用のバスで、30分ほど離れたconvention centerへ向かいました。受付を済ませると、ボランティアに案内され、その日の自分たちの寝床へ。犬たちは隣の建物で避難のため、しばしお別れ。

避難スペースは広く、たくさんのマットレスや簡易ベッドが並んでいました。後から聞いたところ、避難所には約400人の避難者がいたそうです。赤ちゃんからお年寄りまで、いろんな人がいたけれど、皆案外落ち着いている様子でした。荷物を降ろしていると、ボランティアが次から次へとやってきて、水や夜ご飯、子供の服、おむつなど、ありとあらゆるものを持ってきてくれました。避難スペース横には寄付された洋服や日用品、おもちゃやベビー用品などで溢れた部屋が何部屋もあり、必要なものを自由に使って良いことになっていました。元々、隣の家の2階に避難させてもらう予定だったため、1日分しか荷物を用意しておらず、これは本当に助かりました。

おむつ替えや授乳用にも部屋が設けられており、次男が夜泣きする間はそこで過ごしました。プレイエリアもあり、主人と長男はずっとそこ

で遊んでいました。なるべく子供たちを不安にさせないようにと、近隣の学校の先生がボランティアで子供たちと遊んだり、本を読んだりする姿もみられました。

食事も朝・昼・晩とFood Bankと近隣のレストランが提供してくださり、避難所でも温かい食事が食べられるとは思ってもみず、たくさんの人の支えを感じました。

犬たちも1日数回外で遊んでもらっていました。ドッグフードの寄付も後を絶たなかったそうです。

幸い避難所生活は1日のみで、家にも被害はありませんでした。ヒューストンに来て間もないうちに経験したハリケーン。ハリケーン自体は東海岸で何度も経験しましたが、避難したのはこの時が初めてでした。「避難所・シェルター」という言葉に最初は躊躇したけれど、想像とは全く違い、主人と子供たちと安心して過ごすことが出来ました。親切にしてくださったボランティアの方々には、今でも心から感謝しています。

(文責: スミス那美枝)



家の前の道路



避難所



ボートで救出される住民

## Hurricane Q&A

ハリケーン対策について、編集委員の実体験をもとにQ&A形式でご紹介します。

※参考リンク(▶箇所)をクリックするとリンク先に移動できます。

### Q1. ハリケーンで想定される被害とは？

洪水、土砂災害、高潮被害などが起こる可能性があります。ヒューストンで実際にあった被害は、暴風による建物の倒壊や倒木、洪水による浸水、停電、断水などです。

### Q2. ハリケーン情報の入手方法は？

こちらのサイトで最新情報を確認できます。

- ▶ハリケーン情報: [AccuWeather HP](#)
- ▶交通情報: [Houston TranStar HP](#)

### Q3. ハリケーンの準備で大切なことは？防災バックは必要？

準備で大切なことは、飲料水や食料(長期保存できるもの)の備蓄、衛生用水の貯水、車のガソリンの給油です。また、非常時に持ち出す大切なものとして重要書類一式や現金などがあります。他にも、懐中電灯、

バッテリー類、医療品、衣類(長袖を含む数日分の服、下着類、タオル、替え用の靴)が挙げられます。水害が予想されるため、ビニール袋に入れて用意しておきましょう。防災バッグもあると便利ですが、自分の家族構成に合ったものを準備しておくことが重要です。

▶ハリケーン対策マニュアル:

[在ヒューストン日本国総領事館 HP](#)

▶災害準備: [ヒューストン市緊急対策室 HP](#)

▶ハリケーン対策グッズ例:

[ガルフストリーム2020年6月号](#)



### Q4. 過去のハリケーンでの停電期間は？

ハリケーン・アイクの時は、1週間~1ヶ月間停電しました。(地域によって異なる)

### Q5. 洪水が起こりやすい道や地域を事前に把握するには？

こちらのサイトで確認できます。

▶地図: [abc13 HP](#)

また、abc13のアプリは随時情報や通知が入るので便利です。

▶ダウンロード: [iPhone](#) / [Android](#)

日頃から自分の行動範囲(学校や会社への通勤路など)の裏道を頭に入れておくのも大切です。

### Q6. 車が浸水して移動手段がなくなるのを防ぐには？

家族で2台の車を持っている場合、1台は最寄りの高層駐車場に移動しておくとう安心です。また、ハリケーンがメキシコ湾に近づいた時点で車のガソリンは給油しておきましょう。

### Q7. 一軒家は2階建ての方が安全？過去のハリケーンの浸水被害を確認すべき？

2階建ての家の方が安全に見えますが、1階が浸水すると2階に住み続けることはできません。(すぐにカビが繁殖するため)浸水被害の履歴は不動産会社に聞くのがベストです。また、Flood Zone(洪水浸水想定区域)に入っていない地域の家を選ぶことも大切です。

### Q8. 学校の休校についての確認方法は？

学校からメールやテキストで連絡がきます。また、学校や学区のHPでも確認できます。

過去のガルフストリームのハリケーンに関する記事もご覧ください。

▶[バックナンバー](#)

(2017年10月号、2018年6月号、2020年6月号)